

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相模原南児童ホーム	階数	地上3F
建設地	相模原市南区新戸字上見取905番1 外15筆	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定無し	平均居住人員	217 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2014年9月10日
敷地面積	6,081 m ²	作成者	株式会社安江設計研究所
建築面積	1,179 m ²	確認日	2014年9月10日
延床面積	3,026 m ²	確認者	株式会社安江設計研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 参照値: 100%
 建築物の取組み: 83%
 上記+ 以外の: 83%
 上記+: 83%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地や建物の植栽条件の応じた適切な緑地づくりを行っている。	その他 0
Q1 室内環境	昼光率は、共用部: 2.737% (外来待合)・2.223% (診療室)、宿泊部: 6.35%である。全館禁煙である。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。敷地周囲は、見通しのよいフェンスを設け、防犯性・防災性に配慮している。地域交流室を設け、地域の活動やにぎわいに貢献している。
LR1 エネルギー	ライトコートを設けている。ERR=21.9%である。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ =83%である。建物利用者のための適切な量の自転車置場・駐車スペースの確保をしている。
Q2 サービス性能	厨房排気ダクト外部露出は、SUS製を使用している。給水管(VLP)・排水管(VP)→B、給湯管(SUS)→Cで、Eは不使用である。非常用発電設備を備えている。電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている。耐震クラスAを使用している。	
LR2 資源・マテリアル	GL工法・OAフロアを採用している。自動水栓を採用し、節水に努めている。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される